

想いに触れる体験で
何度も訪れてもらえる毛呂山町へ
～産業による賑わい創出～

毛呂山町
まちづくり整備課スマートシティ推進係



毛呂山町の紹介

01



01

毛呂山町の概要

総人口 | 32,247人

(令和6年5月1日現在)

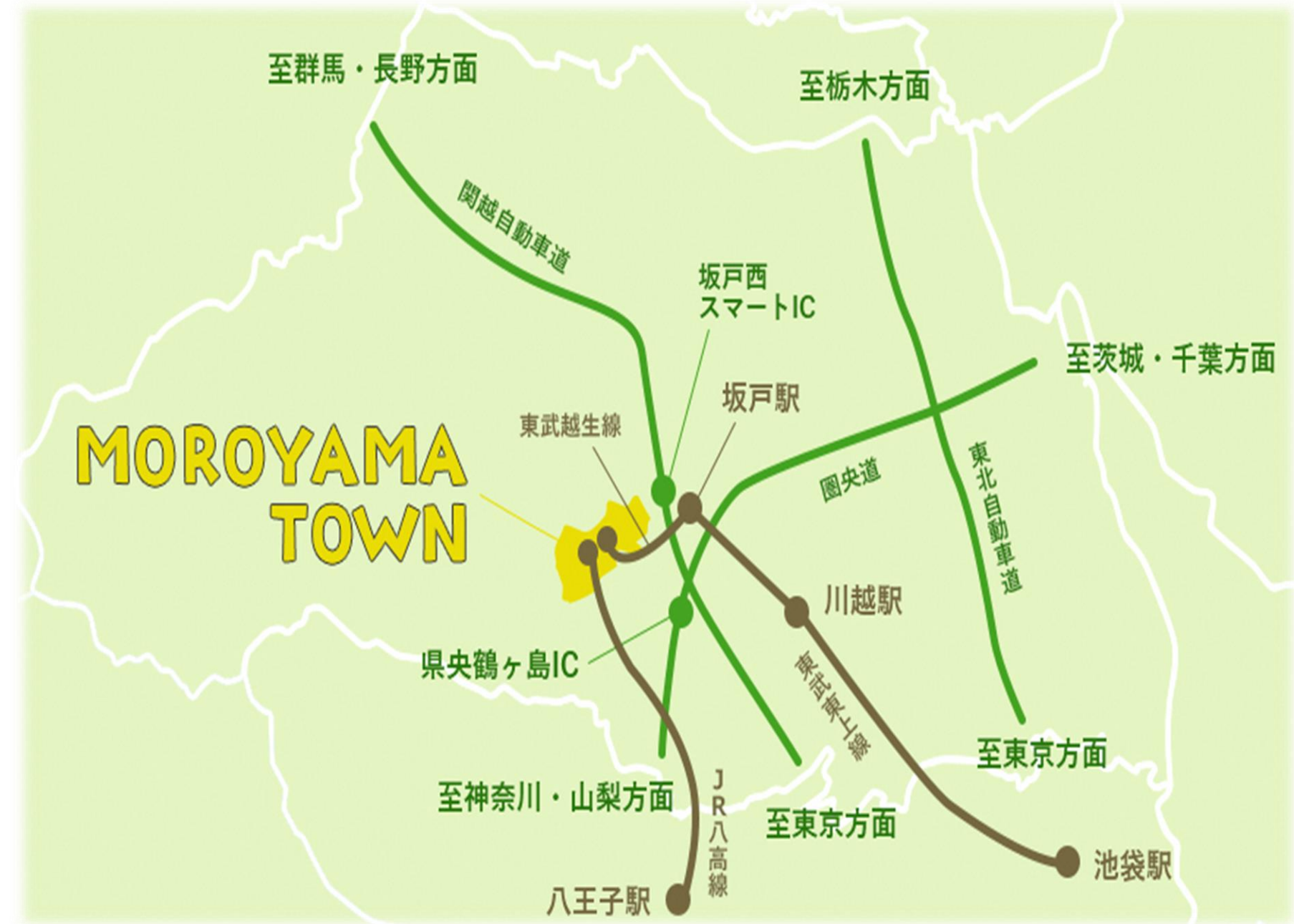
面積 | 34.03 km²

位置 | 埼玉県南西部

東武東上線池袋駅から約1時間

都心から50 km圏内でアクセスも

良い



桂木ゆず

日本最古の生産ゆずとされる。
皮が厚く、香りが強い。



流鏝馬

960年以上続く、伝統的な祭り。
3月と11月の年に2度行われる。



マスコットキャラクター もろ丸くん

特産の桂木ゆずとシンボルの
流鏝馬をモチーフにして
いる。



01

毛呂山町の概要



＼グルメ／



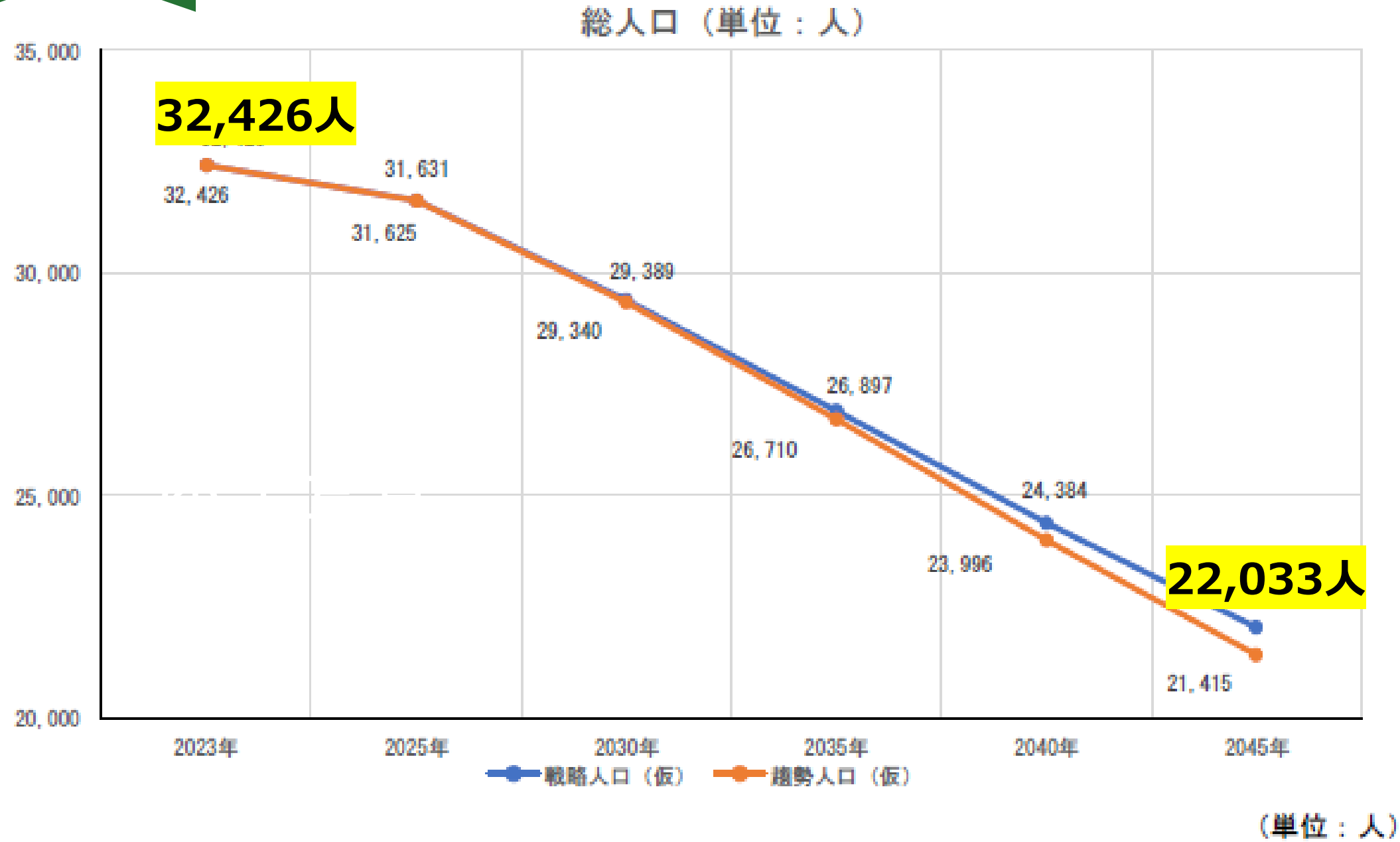
＼景色／



四季折々に美しく変化を見せる里山、穏やかな気候と自然にも恵まれており、
魅力が1つにしぼれない町。

01

毛呂山町の人口推移



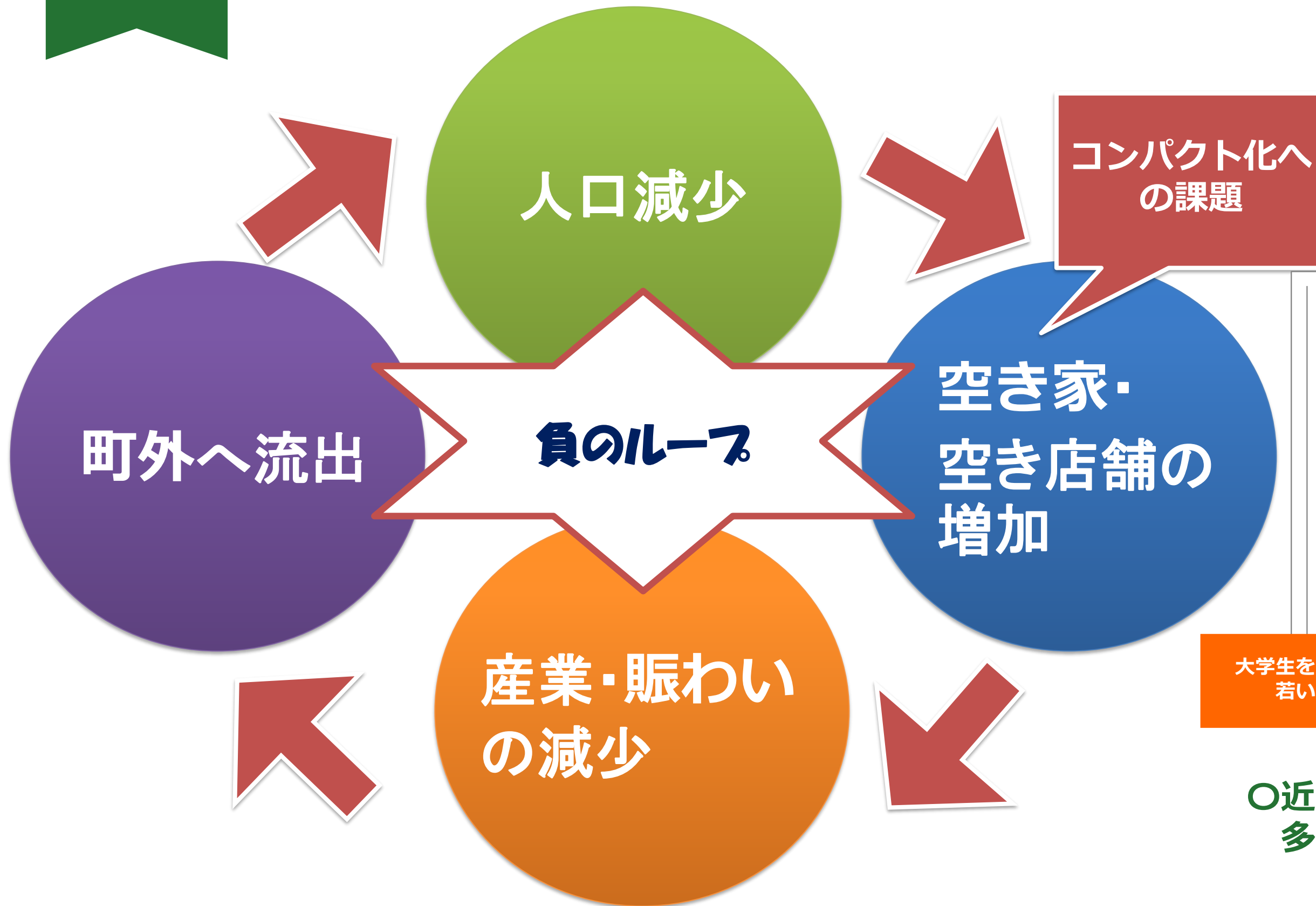
	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
戦略人口 (仮)	32,426	31,631	29,389	26,897	24,384	22,033
趨勢人口 (仮)	32,426	31,625	29,340	26,710	23,996	21,415

- ・人口は減少傾向
→2045年には2023年の人口と比較して、**約1万人**減少見込み。
- ・学校及び就職等で若者の町外流出が増加
→賑わいの減少が止まらなくなってしまう

提案の背景

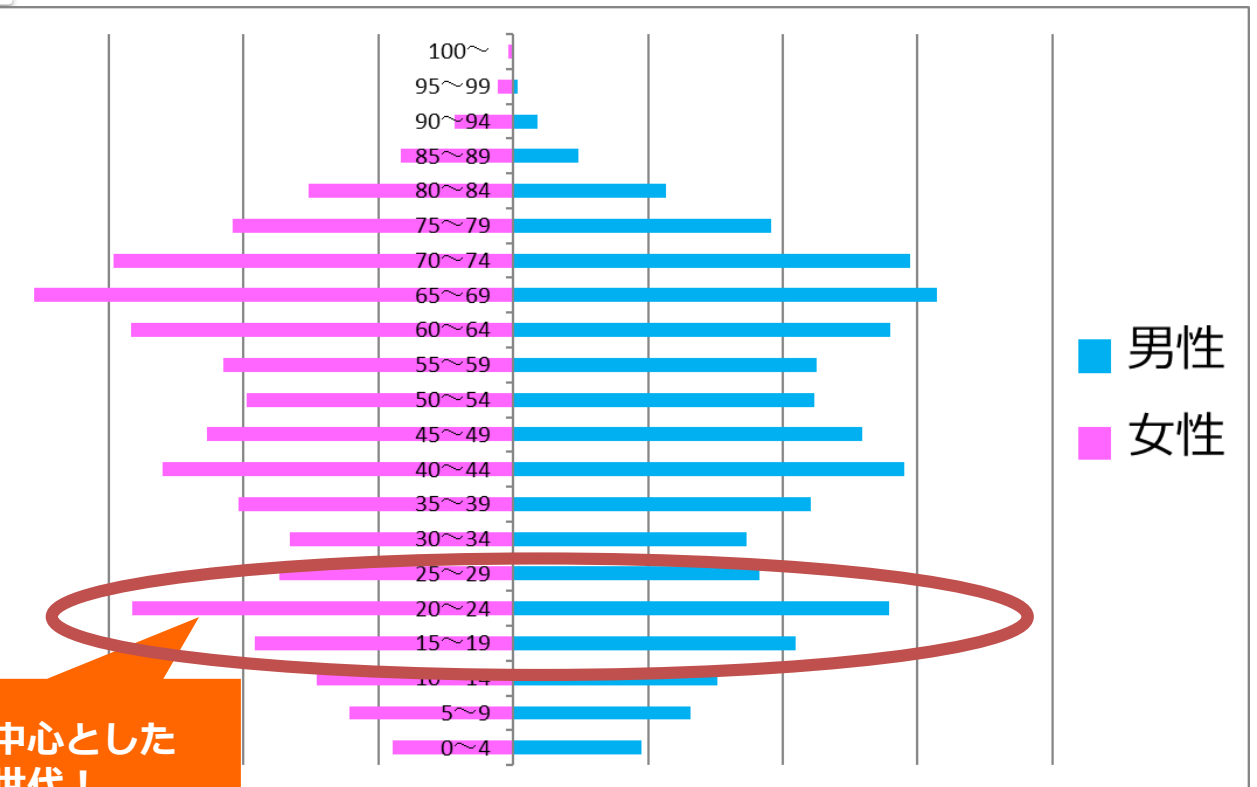
02





ブラックホール型自治体

出生率が低く、人口の増加分を他地域からの流入に頼ってしまっている自治体



大学生を中心とした若い世代！

○近隣に大学が4つあるため20~25歳の人口が多いが、卒業や就職によって町外へ流出が多い

人口の流出によって町内事業者も満足に商売ができなくなっている

↓そのため

- ・ 空き家・空き店舗化（空き家率15.9%(H30) 県内ワースト3位)
- ・ 働く機会の減少による若い人の町外流出
- ・ Uターンが少ない



02

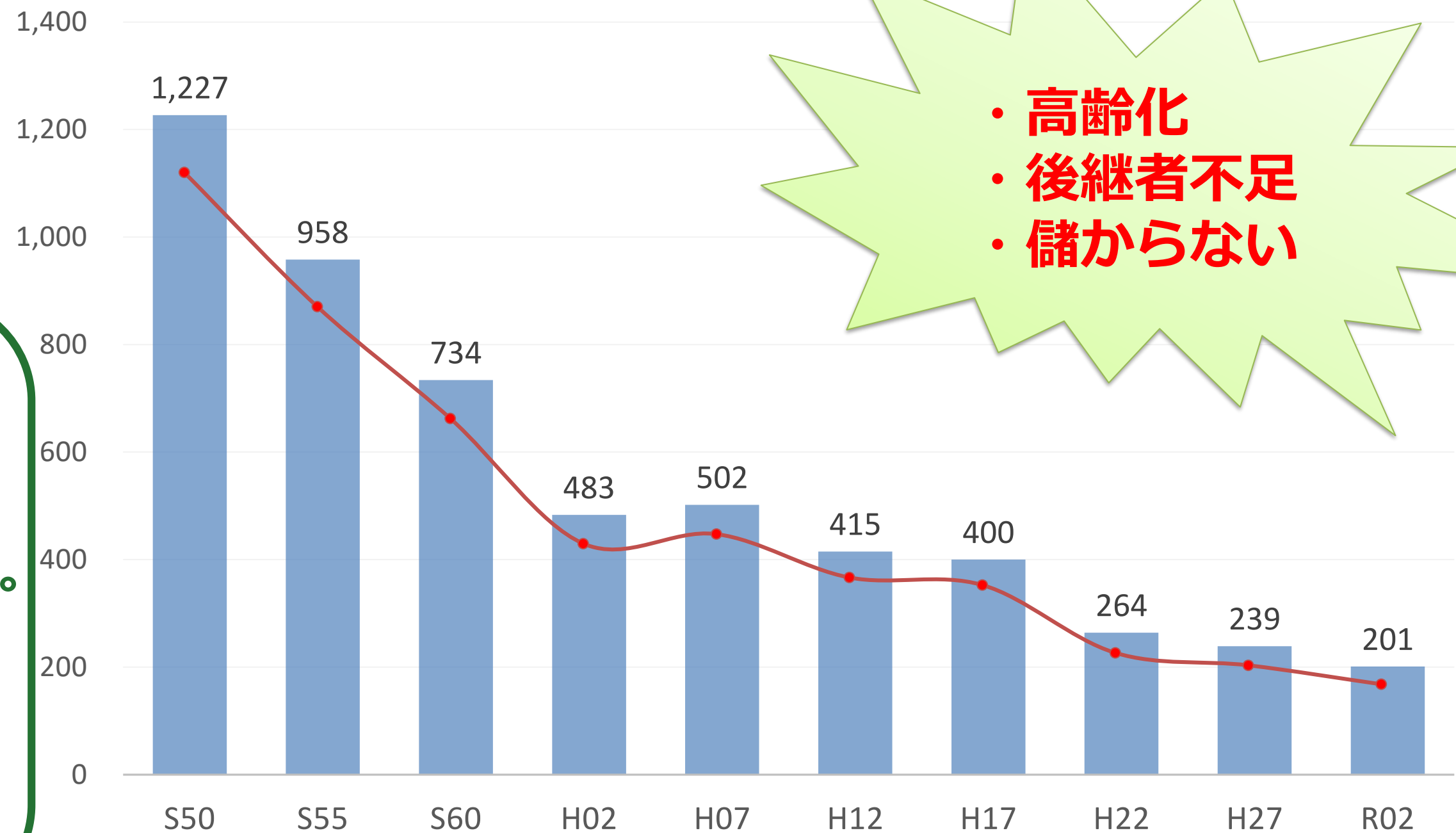
人口減少による毛呂山町の現状



○第1次産業の人口は昭和50年の1,227人をピークに令和2年は約16%の210人にまで減少している。

○特に平成に入ってから、一次産業従事者の数が著しく低下している。

第一次産業総人口の推移



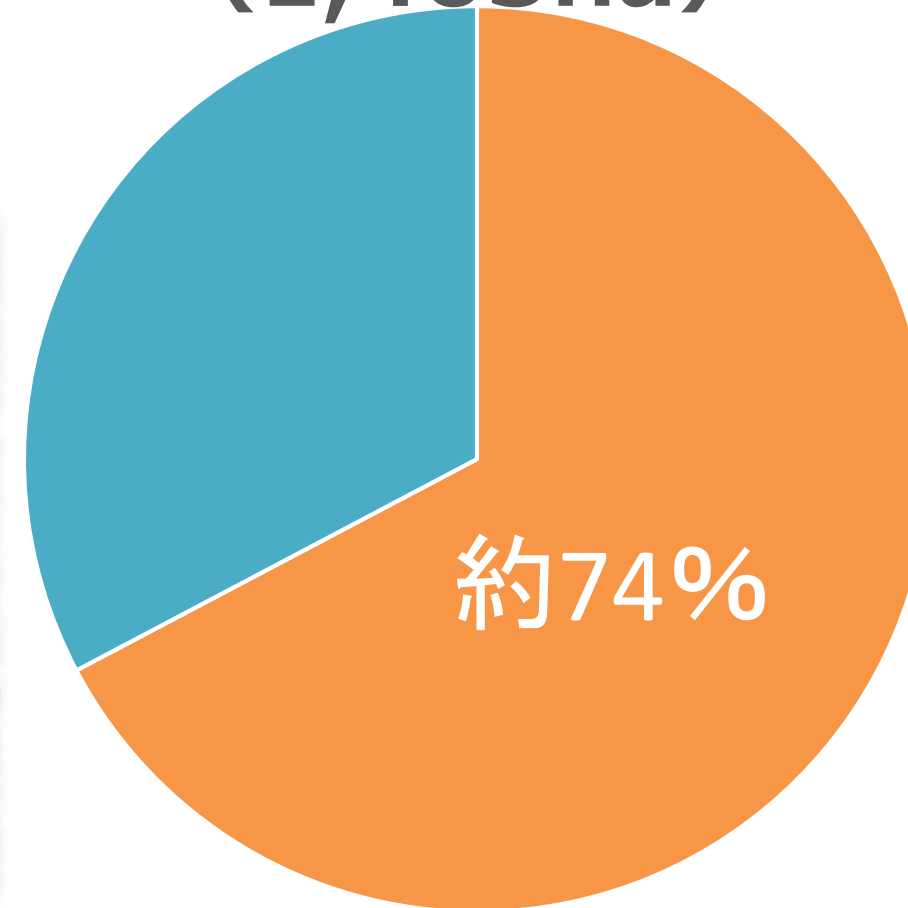
- ・ 高齢化
- ・ 後継者不足
- ・ 儲からない

【出典】毛呂山町 令和5年度統計もろやま(本編)産業別人口(国勢調査)



毛呂山町の森林面積

(1,403ha)

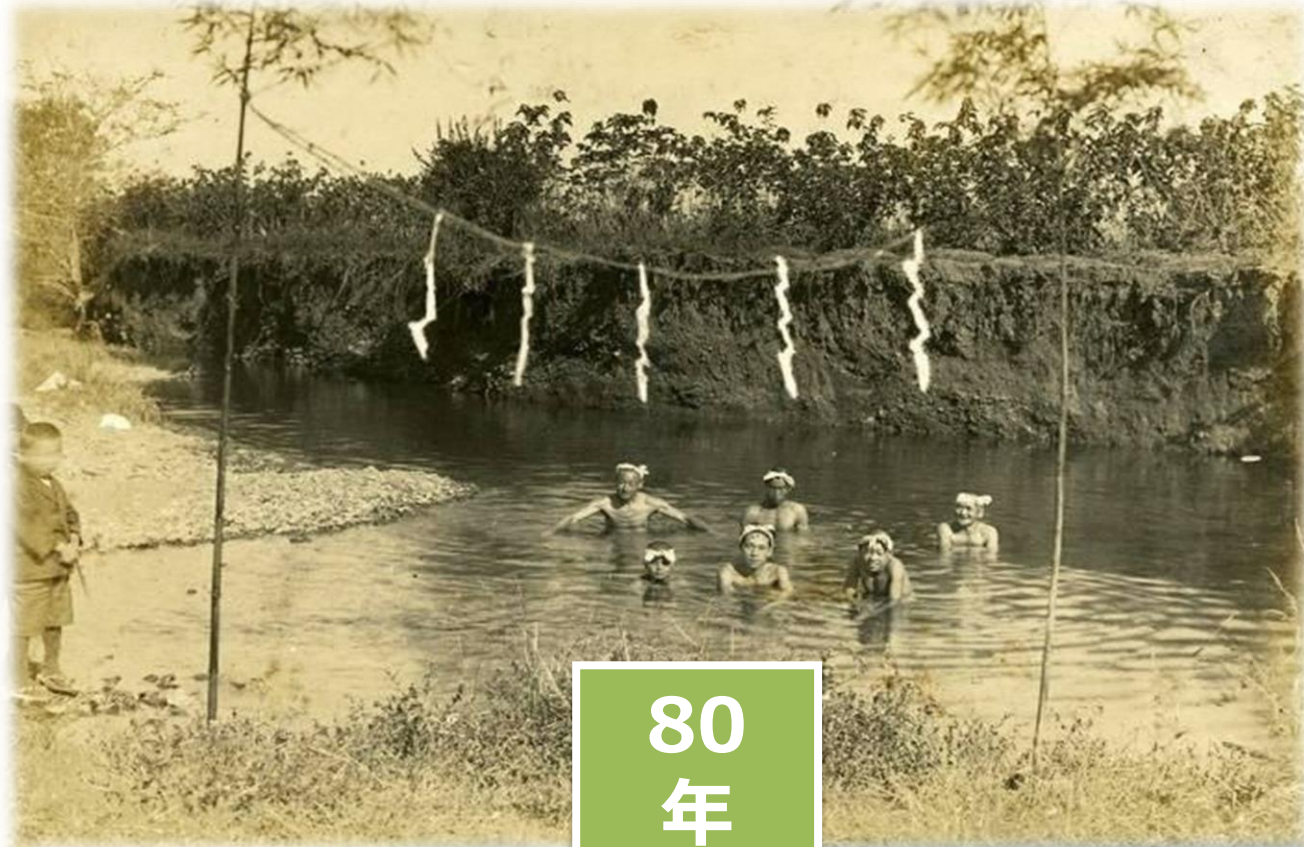


■ 人工林 ■ 天然林

毛呂山町の総面積は
3,407haであり、
森林面積は1,403haで
総面積の約41%にあたる。
※東京ドーム約300個分

そのうちスギ・ヒノキを
主体とした人工林の面積は
約1,040haであり、
町内の森林面積の約74%を
占めている。

昭和18年ごろ

80
年
後

現在

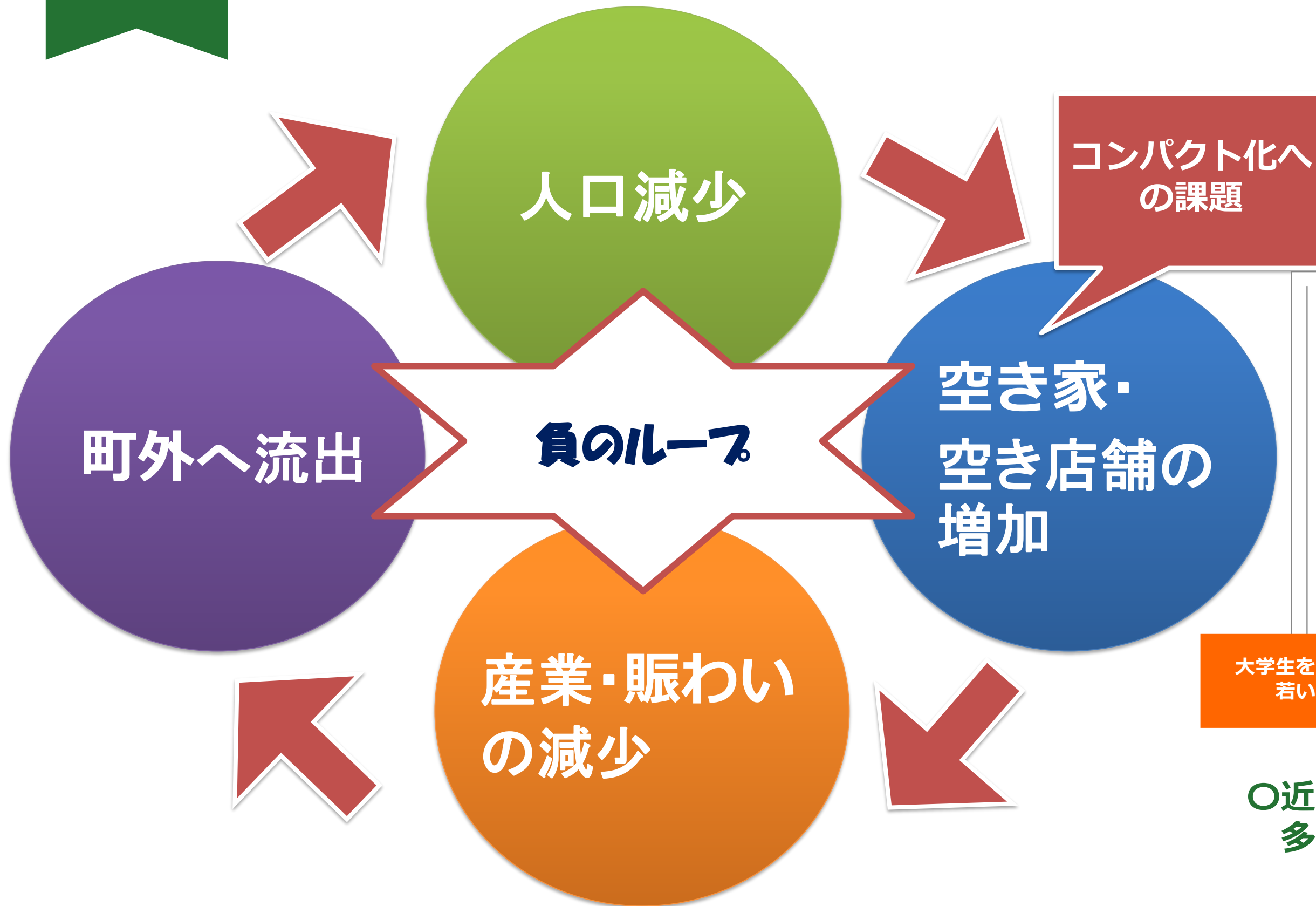


1次産業「林業」の衰退により保水力が弱まり
山が水を貯められなくなっている
→川幅及び水量が減少



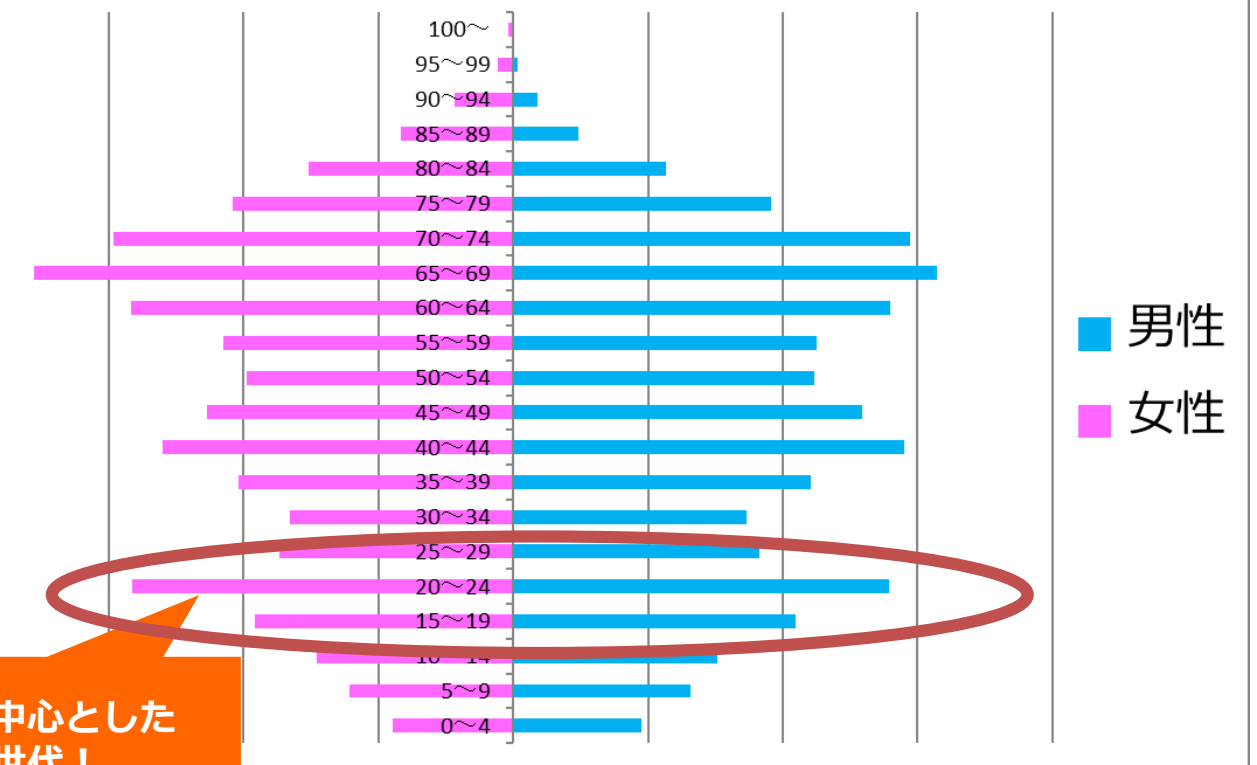
令和元年台風19号：まちに大きな被害が発生





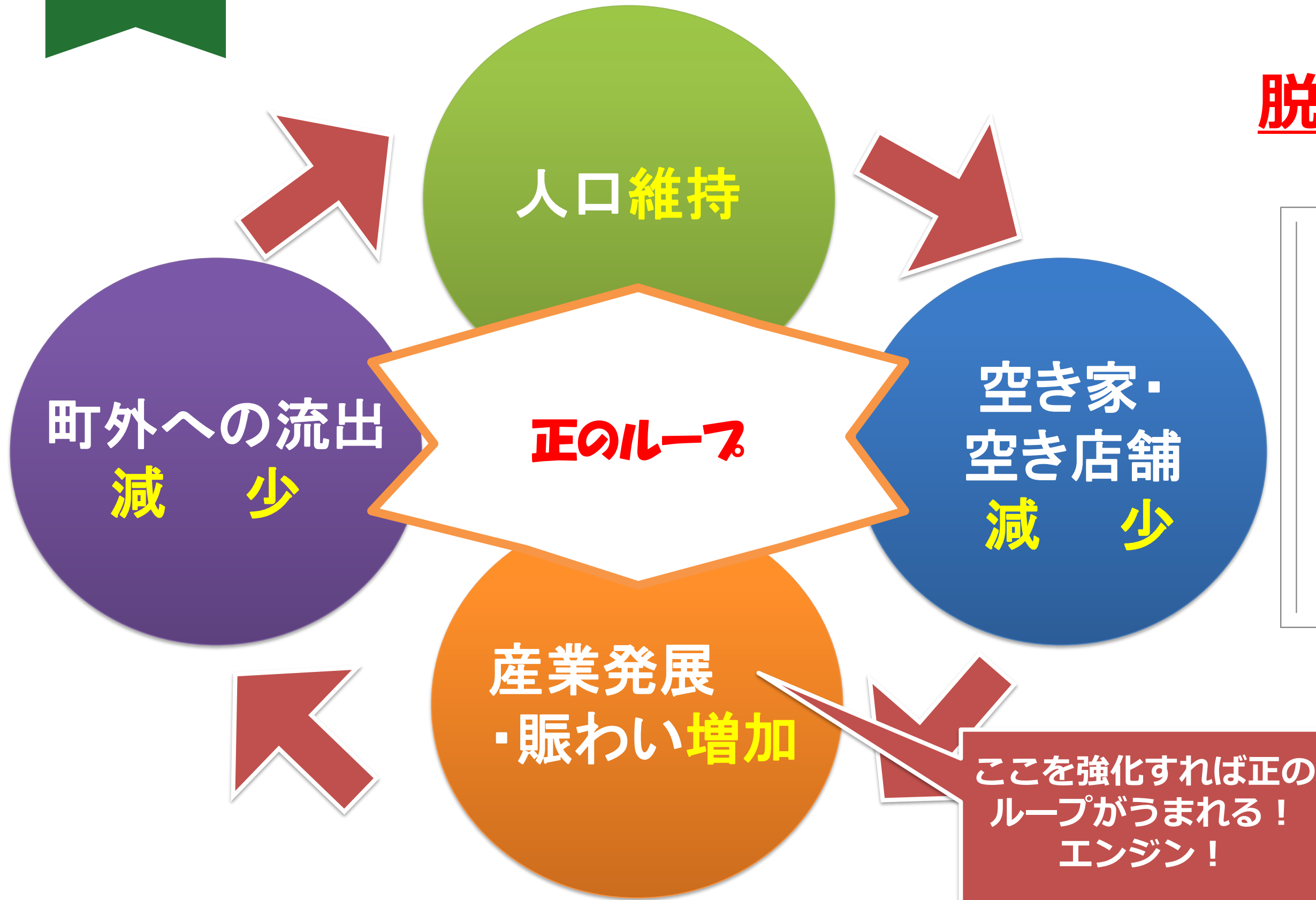
ブラックホール型自治体

出生率が低く、人口の増加分を他地域からの流入に頼ってしまっている自治体

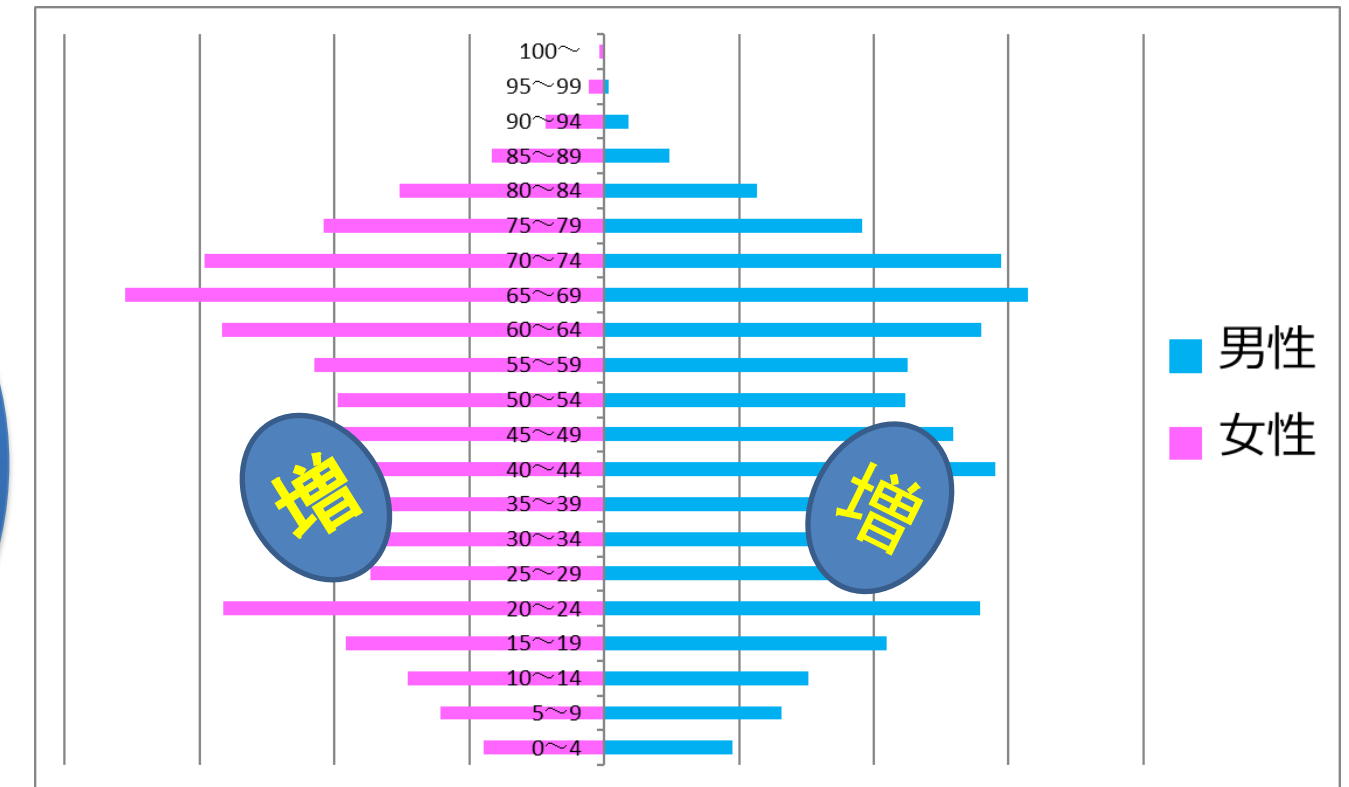


大学生を中心とした若い世代！

○近隣に大学が4つあるため20~25歳の人口が多いが、卒業や就職によって町外へ流出が多い



脱！ブラックホール型自治体



- 卒業や就職の際の町外流出減少
- 生産年齢人口の増加

解決したい課題

03

産業の活性化・賑わいの 増加につなげる 「きっかけ」を作りたい！



- 想いに触れる体験で関係人口を創出したい！
- 毛呂山町内で共感拠点を創出したい！
- 産業の向上により活気のある持続可能性の高い町を作りたい！
- 小商いを創出したい！
- 町の魅力を向上したい！

産業の発展

頻繁な訪問

空き家・空き店舗活用

思いに触れる体験で
何度も訪れてもらえるような
賑わいある町にできないか？

魅力づくり

賑わいの創出

地域内経済循環

町内外住民の交流創出

地域のファンづくり

小商いの創出

想いに触れる体験とは

○埼玉版スーパー・シティプロジェクトの取組みを事業者と共に考えて発展をしていくことを大切にしている。

○コンパクト・スマート・レジリエントの事業を通して、多くの町民・事業者と関わった。町に対して熱い思いを持っている人に心動かされ、より町を好きになったうちのひとり。
→人の心を動かすのは人の思いや情熱に触れる体験であり、「人が町を変える・つくる」

⇒その「**思い**」を持った人に**スポット**当て、
「**思い**」に**触れて**もらって、
共感できる仲間を募りたい！

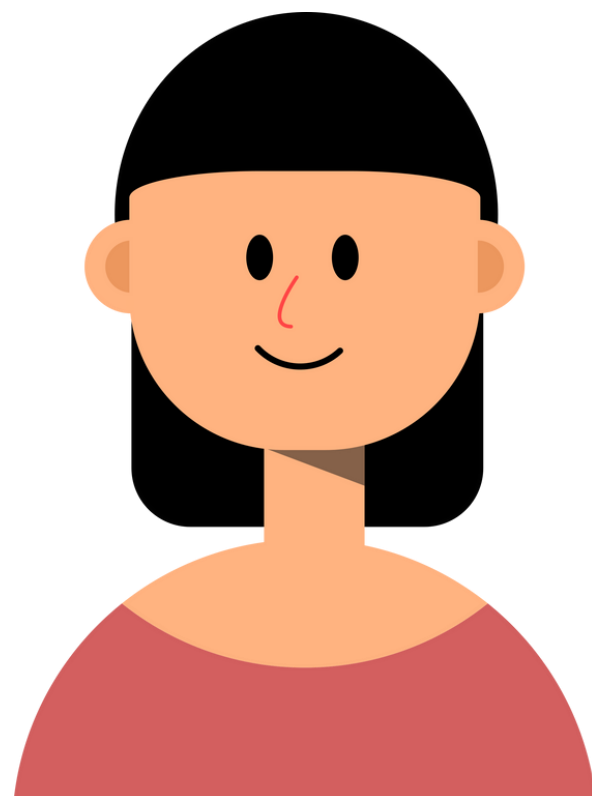
🌿親子で1日木こり体験🌿

令和5年度に町内事業者と共に開発。
2024年2月25日(日)実施。

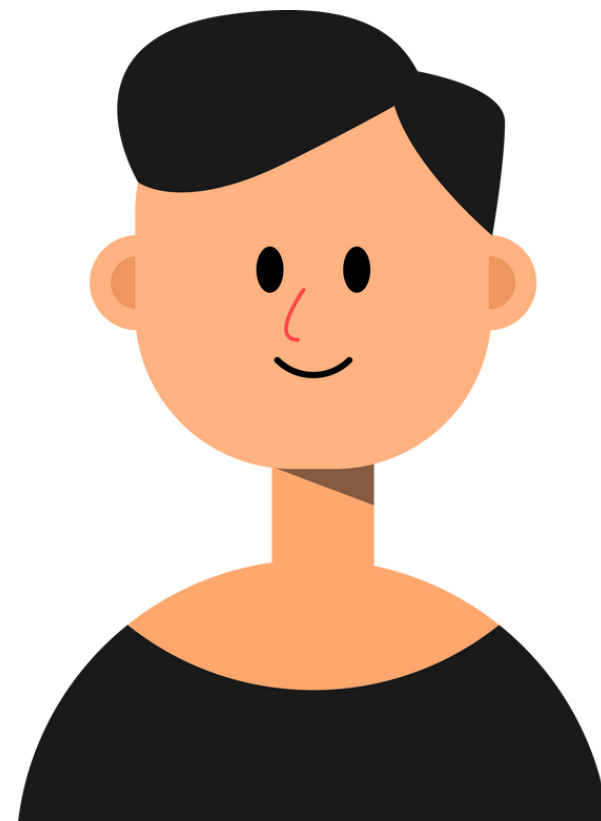
- ・ 6組限定(完売)
- ・ 大人のみでも参加をしたいという声を多くいただいた。
- ・ 大好評で、実施後のアンケートでは「今後も続けてほしい」という声があった。



大人の私も楽しく、森や木の働きについてとても勉強になりました。



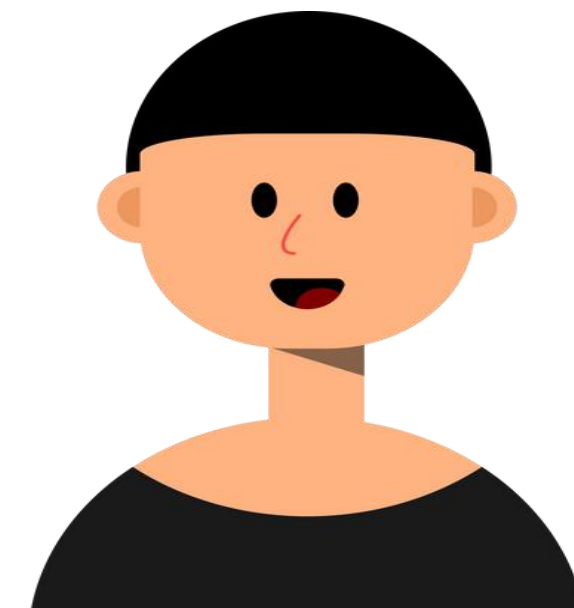
間伐をすると、光が入って綺麗だと感じました。この景色をまた見たいです。



子どもにとって、良い経験になったと思います。毛呂山町はこんないいところがあるのだと知れてよかった。



木を倒すのは、とても大変だった。お箸づくりが楽しかった。また、体験したい！



企業の皆様へ



04

お願い

産業の活性化・賑わいの増加につながる
「きっかけ」になる“想いに触れる”コンテンツを共創したい！

☆毛呂山町の豊かな
 自然・風土を活かした
 商品のアイデア

- 提案・企画を町とまちづくり会社と共にコーディネートしてほしい
- 町の宝である山や水、緑を再生・保全し、愛着や喜びへつながるきっかけを作りたい
- 未来の世代まで毛呂山町の豊かな自然や持続可能な生活環境を守りたい

☆町内外の人が交流できる
 仕組み

- 町内事業者と共創できる、想いに届く体験コンテンツのアイデアが欲しい
- 町民や町内事業者に「毛呂山町」の価値を教えてほしい
- 体験型・ワークショップ等 頻繁な訪問による町のファンを増やしたい

☆効果的な魅力発信の仕組み

- 毛呂山町の魅力やコンテンツについて及びふるさと納税が効果的に伝えられる情報発信をしてほしい

☆実装まで共創してくれる企業

町やまちづくり会社と一緒に共創・情報の発信・実装をしてほしい！

① 場所の提供

毛呂山町の都市公園をはじめとした普段は使うことのできない公共空間から豊かな自然あふれる里山まで、広く提供できます！

③ まちづくり会社も町と共にサポート

地域のレアな情報や地元のプレイヤーをつなぐことができます。
また、大学生との連携も可能。

② ふるさと納税の活用も！

提案頂く開発コンテンツを販路開拓のツール、テストマーケティングの場として実証が可能。

令和6年5月28日実施
第3回毛呂山町共創型
ビジネスフォーラムの様子





株式会社 もろやま

創成舎

まちづくりのパートナー



ビジネスコンテスト

あなたのアイデアが毛呂山町を元気にする!

あなたの想いをカタチに!

毛呂山町
マロヤマタウン
もろやまくん

第2回 ビジネスコンテスト

毛呂山でできる、はじめる。 学生のうちに自分の力を試してみたい方

ビジネスコンテスト開催日時・開催場所

令和4年 **6月25日** 午後1時：開会
午後5時：閉会予定

城西大学 坂戸キャンパス 清光ホール

30歳以下限定・会場審査員の募集 Youtubeでの生配信も決定!

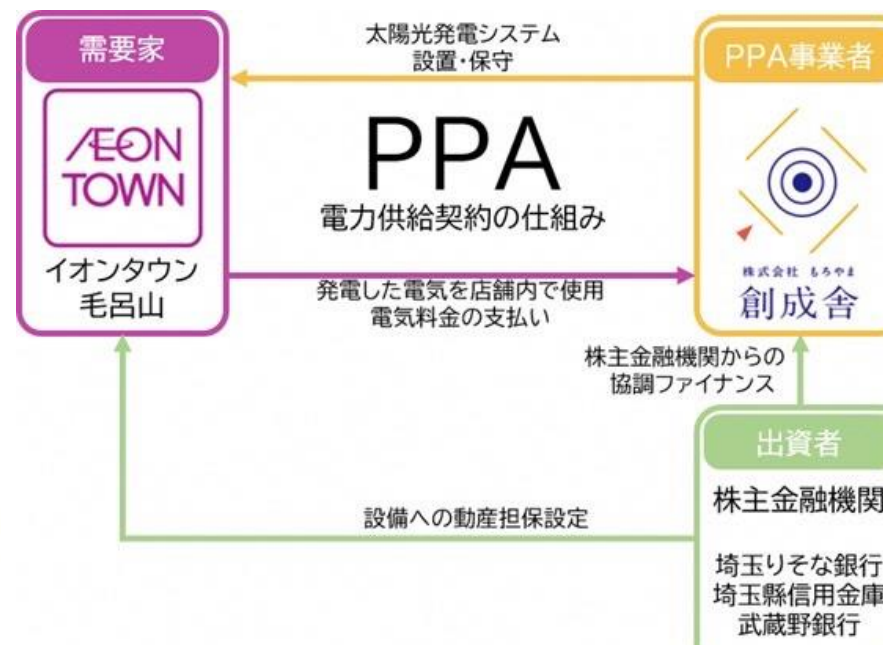
ビジネスコンテストに若い世代の意見を! 審査員へのエントリーは、こちらのQRコードから!

当日の様子は、ゆずの里ケーブルテレビ Youtubeチャンネルより生配信を行います!

【主催・お問合せ先】

株式会社 もろやま 創成舎
株式会社 もろやま創成舎
TEL・050-3204-0415
住所・毛呂山町中央2-1 (設備205会議室)
mail・info@souseisha.biz

再生可能エネルギー事業



ふるさと納税事業

埼玉県
毛呂山町
ふるさと納税

旬を堪能! 毎朝収穫しているフレッシュな苺をお届け

<会社概要>

株式会社もろやま創成舎

代表 笠原 喜雄

設立 2020年10月1日

住所 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1(毛呂山町役場内)

<株主構成>

毛呂山町・埼玉医科大学・毛呂山商工会

埼玉りそな銀行・埼玉縣信用金庫・武蔵野銀行

アトレプロモーション・麻原酒造

ゆずの里ケーブルテレビ・アースシグナル



株式会社 もろやま

創成舎

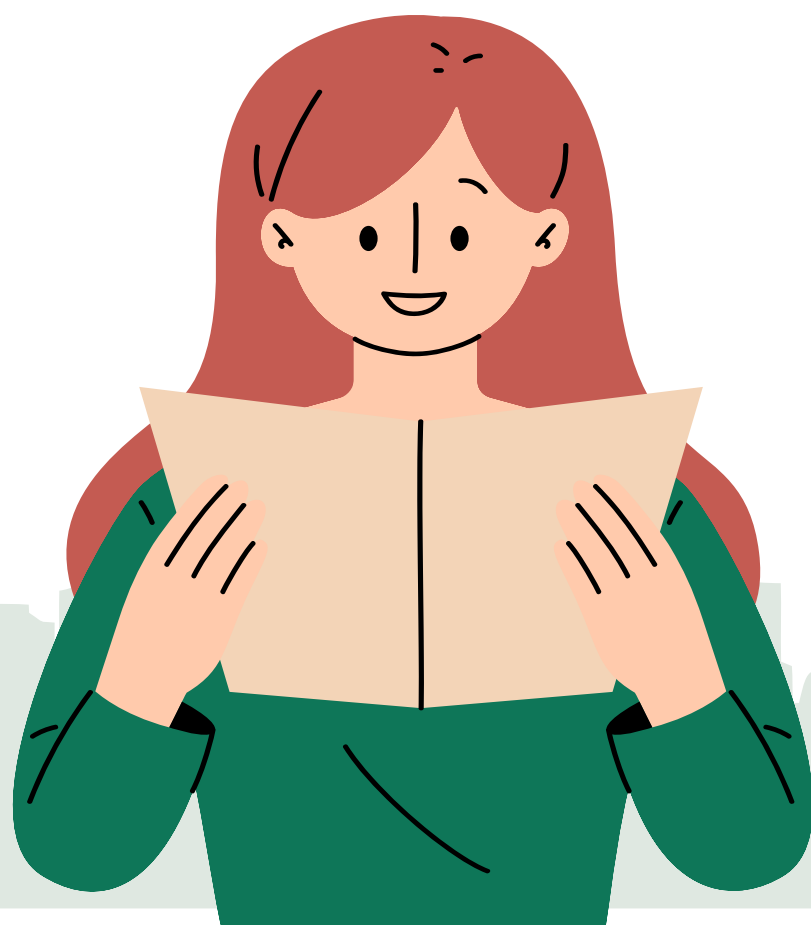
想いに触れる体験型コンテンツを 回し始めると...

- ・ 町内事業者や地域の人々の想いや情熱が町外の人に伝わる
- ・ 町を「好き」になる魅力が伝わる
- ・ 何度も訪れてもらうことで、町内にお金の流れができる
- ・ そのお金がまわりにまわって、毛呂山町の自然やまち、人に還元される
- ・ 町内事業者や町内に賑わいが出てくる

メリット

1. ソーシャルビジネスが展開できる
2. 町内事業者とのイノベーションができる
3. 町から山まで広く活かしたビジネス展開ができる
4. 事業の横展開ができる
5. まちづくり会社・学生との協働

まとめ



05



毛呂山町の**課題**：町内外をつなげる「きっかけ」が少ない、
人員不足、産業の衰退による地域経済循環ができていない

毛呂山町の**リソース**：

- ①場所の提供(毛呂山町の公共空間や里山まで)
- ②ふるさと納税の活用も！
- ③まちづくり会社も町と共にサポート・協働（学生との連携も可能）

ご提案いただきたいこと：ワークショップや想いに触れる体験コンテンツ
の共創、町内外の人をつなげるコンテンツ、効果的な情報発信

企業のメリット：ソーシャルビジネスが展開できる、町内事業者との連携
が可能、町から山まで広く活かしたビジネス展開ができる、
横展開ができる、まちづくり会社もサポート